

# 大同のMMF

## (マネー・マネージメント・ファンド)

### 運用報告書 (全体版) (繰上償還)

償還日 2016年4月28日  
(2015年11月30日～2016年4月28日)

---

#### お客様へ

---

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「大同のMMF (マネー・マネージメント・ファンド)」は、2016年4月28日に信託約款の規定に基づき繰上償還となりましたので、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券／MMF
信託期間	1992年5月8日から2016年4月28日(当初無期限)までです。
運用方針	内外の公社債を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要運用対象	内外の公社債を主要投資対象とします。
分配方針	毎日決算を行い、運用収益(純資産総額の元本超過額)の全額を収益分配金に充当いたします。

## T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

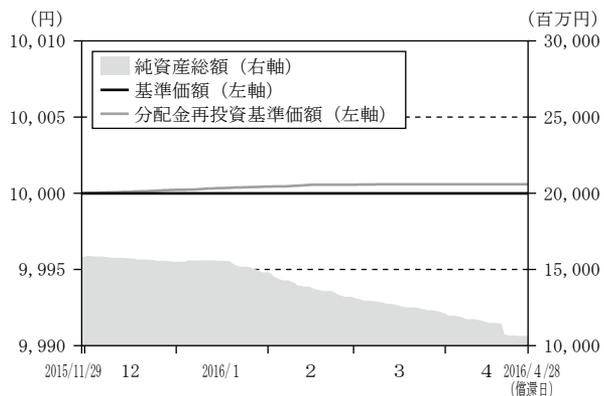
投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

## 設定以来の運用経過

### ■ 当作成期中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年11月29日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

### ■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は10,000円00銭で償還しました。

国内の公社債や短期金融商品等への投資により、安定的な利子等収益を確保し、日々決算を行いました。原則信託財産から生じる利益の全額を収益分配金に充当した結果、基準価額は横ばいでした。

### ■ 投資環境

#### ① 設定日（1992年5月8日）～2003年6月

バブル経済後の低調な景気動向が続く中、日銀による公定歩合の引下げ、アジア通貨危機、大手金融機関の破綻、日銀によるゼロ金利・量的金融緩和政策などから短期金利（無担保コールレート翌日物）は低下しました。

#### ② 2003年7月～2008年3月

景況感の改善、金融不安の後退、株価上昇などから2006年に日銀はゼロ金利・量的金融緩和政策の解除を決定し、短期金利は上昇に転じました。

#### ③ 2008年4月～2013年2月

サブプライムローン問題、リーマンショックなどから世界的な景気後退局面となり、米国FRB（米連邦準備制度理事会）や日銀は金融緩和政策を実施、短期金利は低下しました。

#### ④ 2013年3月～償還日（2016年4月28日）

日銀は2013年4月に「量的・質的金融緩和」により大規模な国債買入を開始、2016年1月にはマイナス金利政策導入を決定したことから短期金利は低下しました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、短期国債市場、国債以外の公社債、C P市場等から流動性を重視しながら有利な運用資産を選択し、運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## ■ 分配金

日々決算を行い、原則信託財産から生じる利益の全額を分配しました。

## 1 万口当たり分配金（2015年11月30日～2016年4月28日）のお知らせ

期 間	1万口(元本1万円)当たり 分配金(税込み)	所得税	地方税	源泉税合計	お手持り額	非課税制度 ご利用の方 お手持り額
2015年12月	0円22銭	0円03銭3厘	0円01銭1厘	0円04銭4厘	0円17銭6厘	0円22銭
2016年1月	0円21銭	0円03銭2厘	0円01銭0厘	0円04銭2厘	0円16銭8厘	0円21銭
2月	0円14銭	0円02銭1厘	0円00銭7厘	0円02銭8厘	0円11銭2厘	0円14銭
3月	0円02銭	0円00銭3厘	0円00銭1厘	0円00銭4厘	0円01銭6厘	0円02銭
4月	0円01銭	0円00銭1厘	0円	0円00銭1厘	0円00銭9厘	0円01銭

- (注) 上記期間の分配金は各月における前月最終営業日から当月最終営業日の前日までの合計。  
 (注) 上記期間のお手持り分配金は、各月の最終営業日に皆様の口座に繰り入れて再投資いたしました。  
 (注) 上記期間内の途中でお買付の場合は、お買付日から各期間の末日までの分配金合計から、源泉税額を差引いた額が再投資額となります。

## 資産、負債、元本および償還価額の状況（2016年4月28日現在）

資 産、 負 債、 元 本 お よ び 償 還 価 額 の 状 況											
資 産						負 債		純 資 産 総 額		元 本	1 万 口 当 たり 償 還 価 額
公 社 債		そ の 他 有 価 証 券		コ ー ル ・ ロ ー ン 等 そ の 他 資 産		合 計	外 純 資 産 比	建 設 資 産 率			
金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率				百 万 円	百 万 円	百 万 円
百 万 円	%	百 万 円	%	百 万 円	%	百 万 円	百 万 円	百 万 円	%	百 万 円	円 銭
—	—	—	—	10,637	100.0	10,637	—	10,637	—	10,637	10,000.00

- (注) 比率は投資信託財産総額（10,637百万円）に対する比率です。  
 (注) 1口当たり純資産額は1円です。  
 (注) 当ファンドの作成期首元本額 15,819百万円  
       作成期中追加設定元本額 629百万円  
       作成期中一部解約元本額 5,811百万円  
 (注) 金額の単位未満は切捨て。

## 売買および損益の状況（2015年11月30日から2016年4月28日まで）

組入 有 価 証 券 の 売 買 状 況				先 物 取 引 状 況				損 益 の 状 況				
買 付		売 付		買 建		売 建		運 損	用 益	信 報	託 酬	収 分 配 金
公 社 債	そ の 他 有 価 証 券	公 社 債	そ の 他 有 価 証 券	新 買 付 額	決 済 額	新 売 付 額	決 済 額					
百 万 円	百 万 円	百 万 円	百 万 円	百 万 円	百 万 円	百 万 円	百 万 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
265,021	—	276,423	—	—	—	—	—	1,160	255	904		
<—>	<—>	<—>	<—>	<—>	<—>	<—>	<—>					

- (注) 公社債の買付、売付は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。（ ）内は償還による減少分で上段の数字には含まれておりません。  
 (注) 組入 有 価 証 券 の 売 買 状 況 に は、 現 先 取 引 が 含 ま れ て お り ま す。  
 (注) 組入 有 価 証 券 の 売 買 状 況 お よ び 先 物 取 引 状 況 に お け る < > 内 は、 利 害 関 係 人 と の 取 引 金 額。  
       ※ 利 害 関 係 人 と は、 投 資 信 託 及 び 投 資 法 人 に 関 す る 法 律 第 11 条 第 1 項 に 規 定 さ れ る 利 害 関 係 人 で す。  
 (注) 単位未満は切捨て。

### <当作成期間中の分配金の計算過程>

当ファンドは日々決算を行い、原則として信託財産から生じる利益の全額を収益分配金に充当しております。なお、当作成期間に係る分配対象収益の合計額は904,671円、分配金額の合計額は904,584円です。

### 組入資産の明細

償還時における組入れはありません。

### 1万口当たりの費用明細 (2015年11月30日から2016年4月28日まで)

#### 費用の明細

項目	作成期間		項目の概要
	2015/11/30~2016/4/28		
	金額	比率	
平均基準価額	10,000円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 ( 投信会社) ( 販売会社)  ( 受託会社)	0.18円 ( 0.04) ( 0.13)  ( 0.01)	0.002% (0.000) (0.001)  (0.000)	(a) 信託報酬＝作成期間に発生した信託報酬額／作成期間の平均受益権口数 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 ( 監査費用)	0 ( 0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	0.18	0.002	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額は円未満は切捨て、信託報酬は小数第2位未満、その他費用は円未満を四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	1992年5月8日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年4月28日		資産総額	10,637,112,404円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	0円
				純資産総額	10,637,112,404円
受益権口数	10,000,000口	10,637,112,317口	10,627,112,317口	受益権口数	10,637,112,317口
元本額	10,000,000円	10,637,112,317円	10,627,112,317円	1万口当たり償還金	10,000円00銭
毎作成期末の状況					
作成期間	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
2005年11月30日～2006年5月30日	45,740,097,802円	45,740,139,553円	10,000円	2.36円	0.0236%
2006年5月31日～2006年11月29日	44,595,171,928	44,595,186,704	10,000	10.95	0.1095
2006年11月30日～2007年5月30日	43,883,789,855	43,883,812,685	10,000	17.35	0.1735
2007年5月31日～2007年11月29日	24,069,231,004	24,069,249,016	10,000	23.45	0.2345
2007年11月30日～2008年5月29日	26,904,284,510	26,904,298,695	10,000	28.20	0.2820
2008年5月30日～2008年11月27日	28,455,150,600	28,455,167,826	10,000	28.62	0.2862
2008年11月28日～2009年5月28日	25,638,766,468	25,638,776,497	10,000	17.66	0.1766
2009年5月29日～2009年11月29日	25,497,030,783	25,497,030,972	10,000	11.36	0.1136
2009年11月30日～2010年5月30日	24,151,587,052	24,151,602,858	10,000	7.01	0.0701
2010年5月31日～2010年11月29日	23,058,419,645	23,058,422,393	10,000	5.41	0.0541
2010年11月30日～2011年5月30日	21,968,800,430	21,968,810,209	10,000	4.56	0.0456
2011年5月31日～2011年11月29日	19,925,540,021	19,925,546,403	10,000	4.23	0.0423
2011年11月30日～2012年5月30日	19,326,003,776	19,326,005,332	10,000	4.09	0.0409
2012年5月31日～2012年11月29日	17,961,330,934	17,961,338,533	10,000	3.70	0.0370
2012年11月30日～2013年5月30日	17,810,105,576	17,810,109,060	10,000	3.29	0.0329
2013年5月31日～2013年11月28日	18,395,114,551	18,395,130,057	10,000	3.06	0.0306
2013年11月29日～2014年5月29日	19,541,426,238	19,541,438,484	10,000	2.51	0.0251
2014年5月30日～2014年11月27日	16,767,903,515	16,767,910,371	10,000	2.04	0.0204
2014年11月28日～2015年5月28日	16,747,169,208	16,747,174,865	10,000	2.15	0.0215
2015年5月29日～2015年11月29日	15,819,449,184	15,819,463,978	10,000	2.06	0.0206

### 《お知らせ》

平成28年2月16日に投資信託契約解約届出書を金融庁に提出しました。